

SAPPORO Japan

APRES SKI



THE ONLY CITY IN THE WORLD

DAY PLAN
NIGHT PLAN
ENJOY



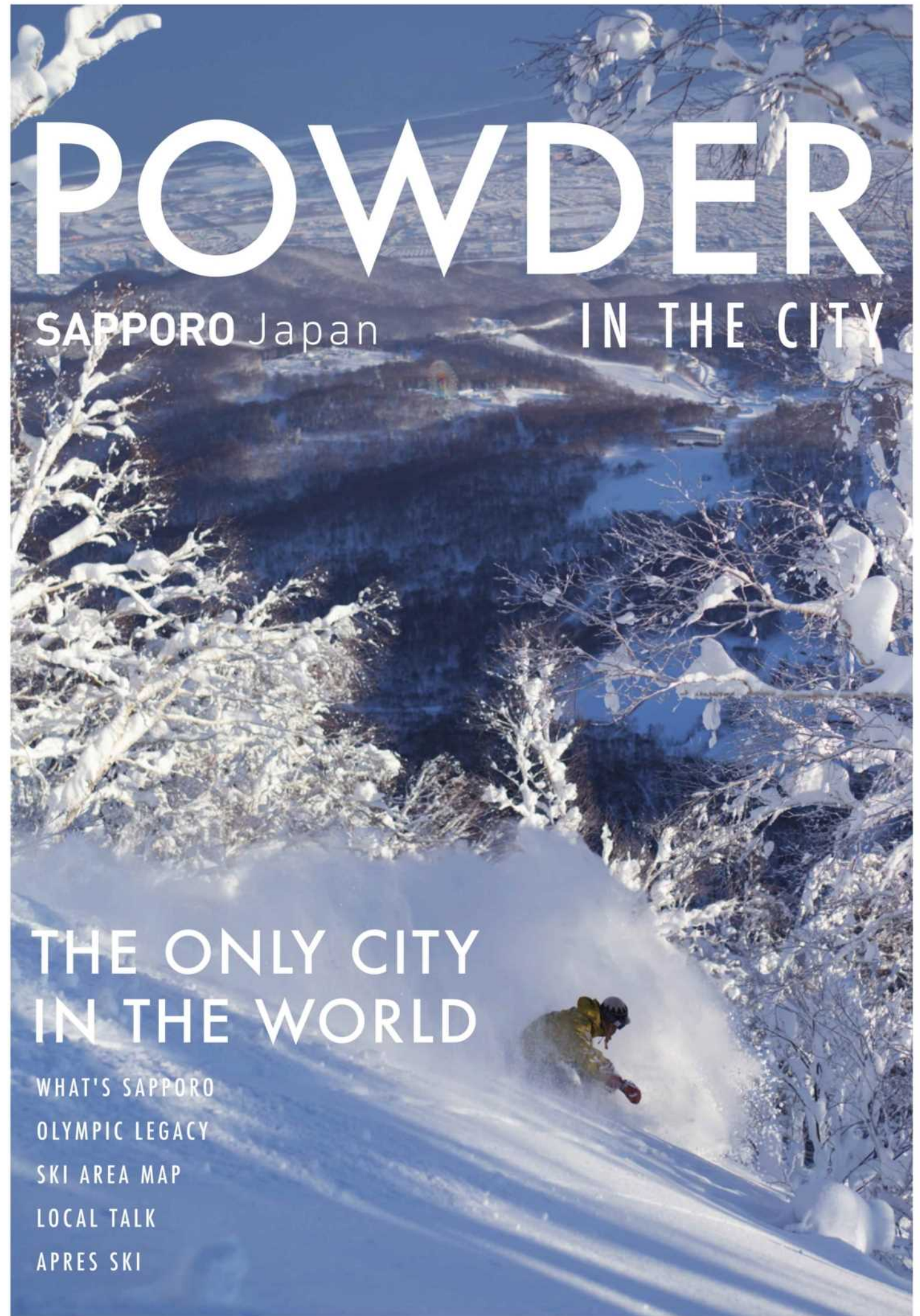
POWDER

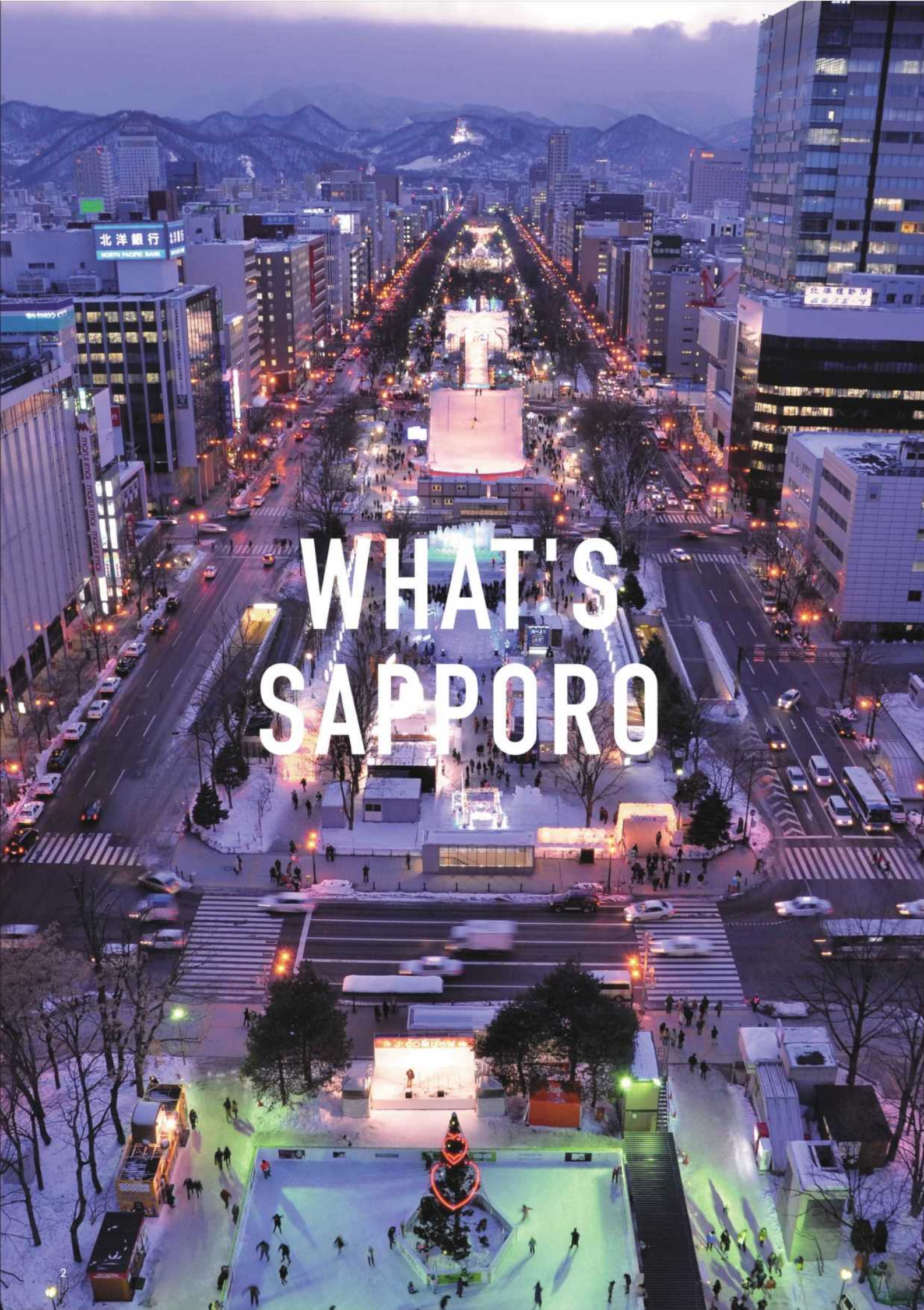
SAPPORO Japan

IN THE CITY

THE ONLY CITY IN THE WORLD

WHAT'S SAPPORO
OLYMPIC LEGACY
SKI AREA MAP
LOCAL TALK
APRES SKI





WHAT'S SAPPORO



唯一無二の雪の観光都市・札幌

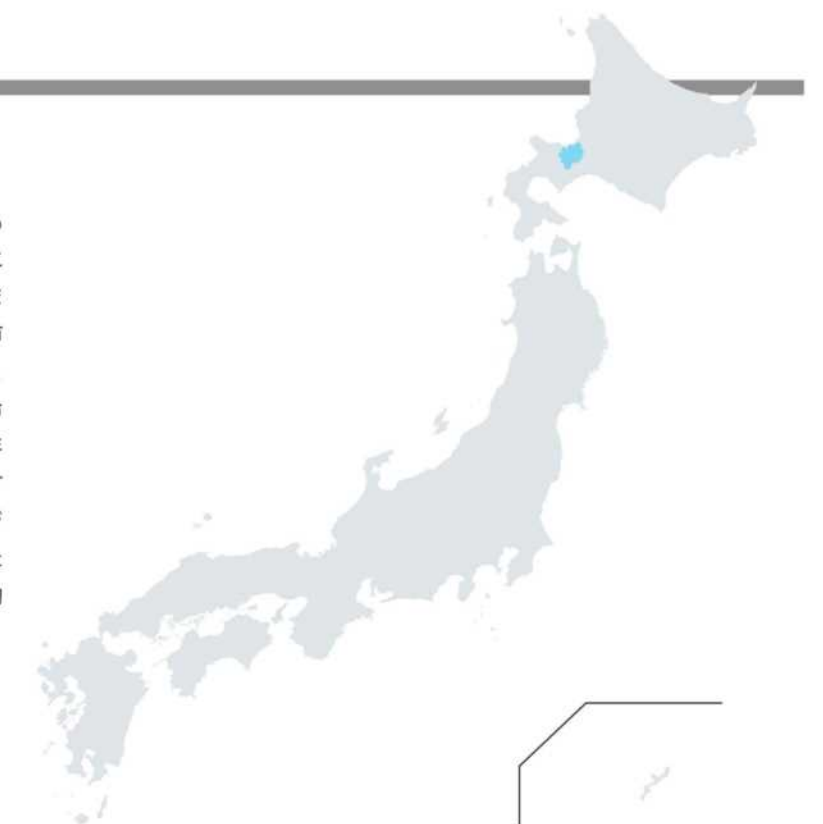
年平均約5mもの降雪量がある厳しい自然環境のもと、
約200万人の人々が日常的に雪と親しみながら都市を形成。



初雪は概ね10月下旬～11月上旬頃。12月上旬～下旬には根雪となり、市内は銀世界に彩られます。除雪など雪対策が充実しているため生活への影響は限定的。都市と自然が密着した札幌の冬を思う存分満喫できます。

About Climate History

札幌市は人口約200万人で、日本で5番目の規模を誇る大都市。北海道の中心都市で、ショッピングや食事、エンターテインメントなど、あらゆる楽しみが集まっています。「都市と自然の調和」が札幌の特徴であり、大都市に滞在しながら身近に雄大な自然を体感できるのが、大きな魅力です。気候は、夏はさわやか、冬は積雪寒冷が特徴。降雪量は年平均約5mと多く、雪が降る日は年間120日以上。このような降雪地域に大都市が存在するのは、世界的に見ても珍しいことです。1972年にアジア初の冬季オリンピックを開催。1950年に始まった「さっぽろ雪まつり」は200万人以上が来場する世界的イベントとなっています。



SAPPORO OLYMPIC LEGACY

1972年に冬季オリンピックが
アジアで初めて開催された街
オリンピックシティ「SAPPORO」



上) 閉会式やスピードスケートの舞台となった真駒内スケート競技場。
中) 大倉山ジャンプ台に併設されたオリンピックミュージアムでは当時の様子を知ることができます。
下) 実際に競技で使用された大倉山ジャンプ台



札幌オリンピック (第11回オリンピック冬季競技大会)

1972年2月3日～13日の11日間にわたり、アジアで初めて開催された冬季オリンピック。35カ国から1128人の選手が参加しました。競技が行われた会場の一部はいまも残り、市民や観光客が利用できます。ジャンプ競技が開催された大倉山ジャンプ競技場では、ジャンパー目線で札幌の街を一望できます。隣接するオリンピックミュージアムでは、冬季五輪の歴史をいまに伝えています。アルペン競技が開催されたサッポロテイネスキー場には当時の聖火台も現存しており、五輪競技で使用されたコースを実際に滑ることもできます。

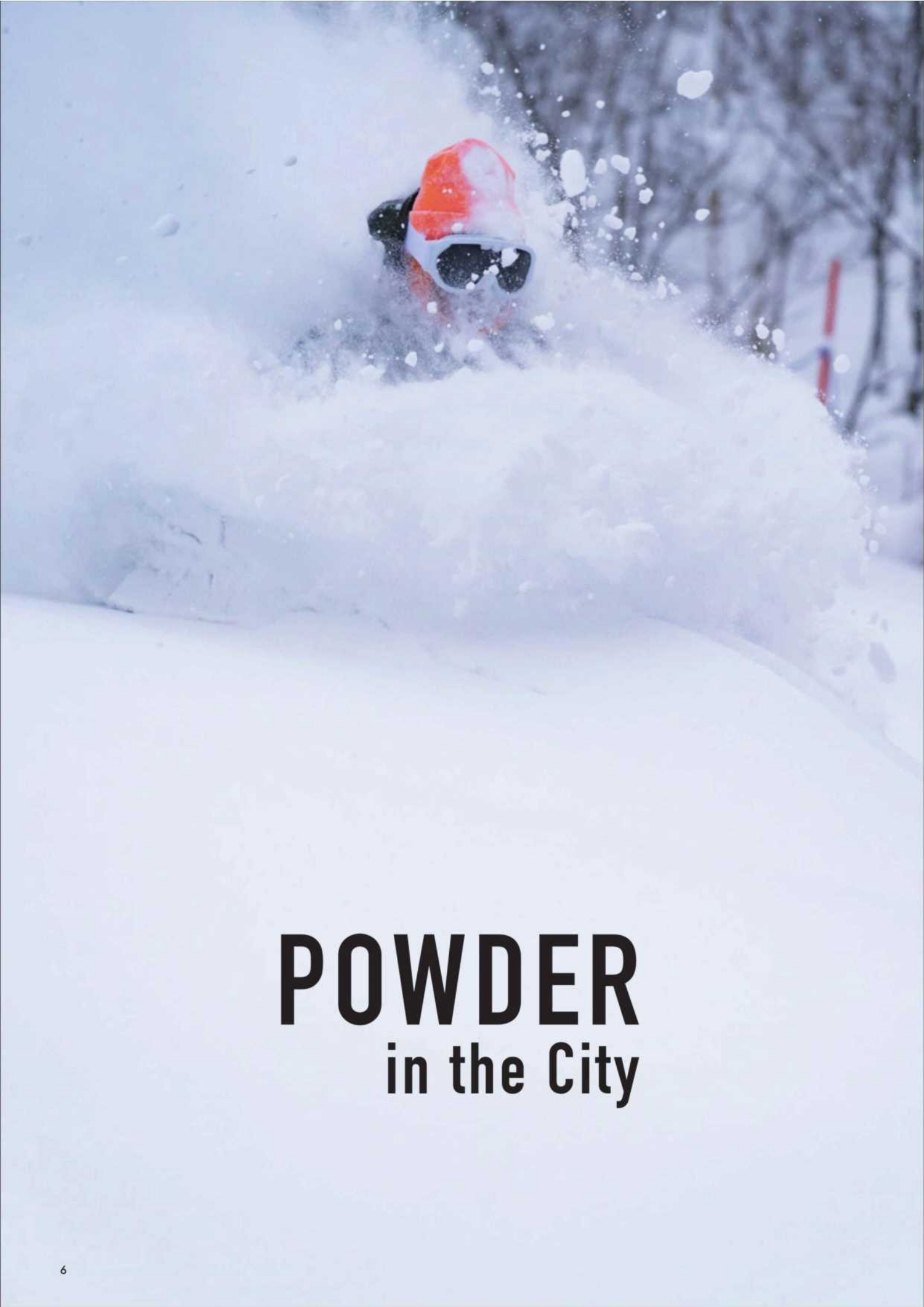
SAPPORO CITY MAP

札幌のスキー場

札幌市内には、上級者から初級者、雪遊びを楽しみたい人まで、それぞれの楽しみ方ができる6つのスキー場があります。どこも都心から1時間以内にあるため、都市観光とスキーを一緒に楽しめます。



- 1 サッポロテイネ
- 2 札幌国際スキー場
- 3 さっぽろばんけいスキー場
- 4 札幌藻岩山スキー場
- 5 フッズスノーエリア
- 6 滝野スノーワールド



POWDER in the City

大都市札幌にしかない 奇跡のパウダー体験

SNOW RESORT CITY



雪が降り積もる気象と立地環境に恵まれた、世界的にも稀有な観光都市

札幌市ほどの大都市に大量の雪が降るのは珍しいことです。札幌のひと冬の降雪量は5m近くになりますが、カナダのモントリオールやロシアのサンクトペテルブルグといった雪が降る大都市では3m未満。いかに札幌の雪の量が多いのかがわかります。降り積もる雪により、日々の暮らしにおいて困ることも少なくありません。しかし、これだけの雪があるから、冬はスキーやスノーボードが日常的に楽しめ、「さっぽろ雪まつり」のような世界的に知られるイベントも行えるのです。また、こうした諸条件をクリアできたからこそ、アジアで初めての冬季五輪も開催できたのです。大都市にこれほど大量の雪が降り積もることも、吹けば飛ぶような軽い雪質も、世界中を見

渡しても稀有。その理由は、シベリアから吹く冷たく乾いた空気が、温かい日本海を渡っているうちに水蒸気を補給して雪雲を作り、これが北海道に達して山岳などにより上昇することで発達し、日本海側に大雪をもたらすためです。厳冬期の札幌はこのサイクルが頻繁に起きやすく、フレッシュな雪が降る環境に恵まれています。3日も滞在すれば大都会の夜景や海を見ながらのパウダー滑走、木々の間を縫って滑るツリーランなどが堪能できるでしょう。都市部からは30分～1時間ほど車を走らせれば、すぐにスキー場に立てる利便性。立地や気象条件がここまでマッチしたパウダーシティは世界中を見渡しても類を見ません。存在自体が奇跡なのです。

「奇跡の街」たる所以



天然雪

11月から5月まで天然雪が積もり、およそ半年以上にわたってスキーやスノーボードができるスキー場が都心から車でわずか1時間以内の距離にあります。



ナイトパウダー

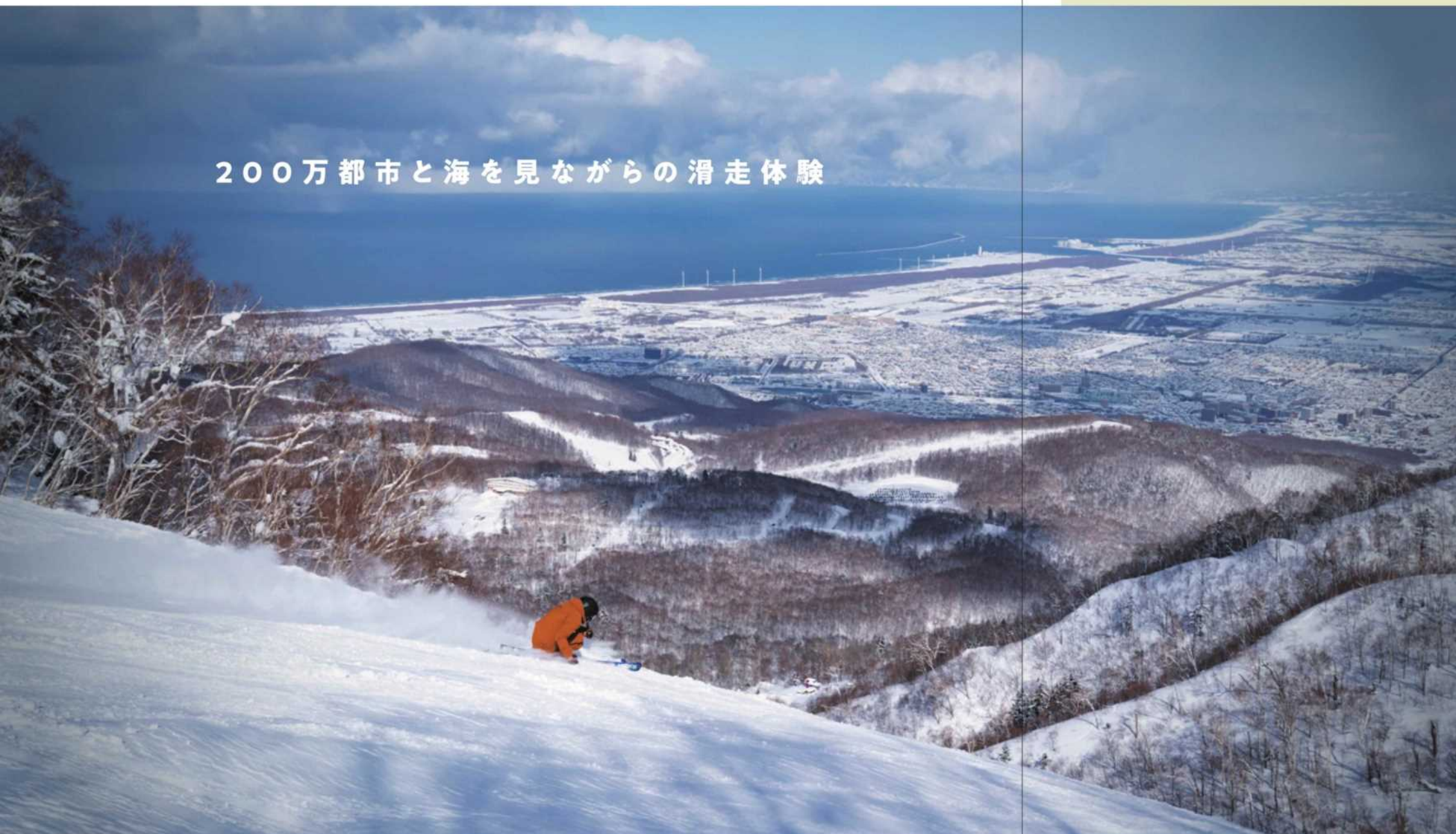
都心から最短30分で行けるスキー場はナイト営業を行っているため、「夜景」や「ナイトパウダー」が味わえます。



海が見える

世界を見渡しても、都心の近くで海を見ながらパウダーを楽しめるスキー場はそうそうありません。札幌ではそれが日常的に楽しめます。

200万都市と海を見ながらの滑走体験



初心者に最適な1.5kmのロングコースはランニングバイクも走行可能。ランニングバイクのコースとしては日本一の長さを誇ります



シーズンピークの積雪は4mを超えることも、最高のパウダースノーを体感できる

サッポロティネ

SAPPORO TEINE

DATA

〒006-0029 札幌市手稲区手稲本町593
☎011-682-6000
<https://sapporo-teine.com/snow/>



標高トップ:1023m
標高差:683m
標高ベース:340m



ゴンドラ ナイター レンタル レッスン(外国語)



札幌市中心部から約40分



JR手稲駅からJR北海道バス乗車約16分



@sapporo.teine



@teine1024



@sapporo_teine_official



@TEINE CHANNEL ~サッポロティネ公式~

SAPPORO
6 SKI AREA

01

SAPPORO
TEINE



オリンピックレガシー



サッポロティネは、アジア初の冬季オリンピック会場としてアルペンスキー競技の男女回転と大回転、ボブスレーとリュージュ競技が開催されました。コース名として残っている女子大回転や男女回転をはじめ、聖火台など、当時の面影を感じさせる場所がいくつもあります。

サッポロティネは、1972年に開催された冬季オリンピック会場として、アルペンスキー競技の男女回転や大回転、ボブスレーとリュージュ競技が開かれたスキー場で、ハイランドゾーンとオリンピックゾーンの2つのエリアに分かれています。標高1000mの手稲山山頂に広がるハイランドゾーンは、札幌市街や石狩湾を見下ろしながらの滑走が魅力。そのような体験はここでしか味わえません。コースは中上級者向けが多く、アルペンスキー競技のコース「女子大回転」や、圧雪車が入れない林間斜面「北かべ」など、全国的な知名度のあるコースが特徴です。ビギナーもゴンドラやリフトを使って山頂からの景観を楽しみながら全長6000m近い緩斜面を滑って降りてこられます。対照的にファミリーに適した斜面が多いのがオリンピックゾーン。平均斜度13°のビギナー向けコース「白樺サンシャイン」をはじめ、キッズパークやスノーアトラクションも揃っています。市内の中心部からわずか15kmほどしか離れていないのに、例年5月上旬まで滑走できるほど雪が豊富。その上、最良のパウダースノーが降り積もるため、多くのスキーヤーやスノーボーダーが通い詰めるスキー場です。



都心から1時間の距離で
最大積雪5m、11月から5月まで天然雪が楽しめる



雄大な自然をたっぷり満喫できるウインターリゾート



寒い日に見られる幻想的な樹氷の林

アフタースキーは温泉でほっと一息



定山溪温泉は北海道を代表する温泉地のひとつ。札幌国際スキー場から車で約30分の場所にあり、宿泊はもちろん日帰りでも気軽に温泉を楽しめるので、ゲレンデで冷えた体を温めて疲れを癒すのにぴったりです。

札幌国際スキー場

SAPPORO KOKUSAI

DATA

〒061-2301 札幌市南区定山溪937番地先
☎011-598-4511
<https://www.sapporo-kokusai.jp/>



標高トップ:1100m
標高差:470m
標高ベース:630m



ゴンドラ



レンタル



レッスン(日本語・英語)



札幌市中心部から約60分



札幌駅前バスターミナル17番のりばから約90分



@sapporoKOKUSAI



@sapporo_KOKUSAI



@sapporo_kokusai



@札幌国際スキー場



SAPPORO
6 SKI AREA

02

SAPPORO
KOKUSAI

札幌国際スキー場は、札幌市の中心部から車で約1時間のロケーションにあり、北海道でも屈指のパウダースノーと広大なゲレンデが魅力のスキー場。札幌近郊のスキー場の中では営業期間が長く、例年11月中旬から5月上旬までウインタースポーツが楽しめます。スキー場は山麓から山頂まで延びる8人乗りゴンドラを軸に、全7コースが山肌に広がっています。最も短いコースでも1.0kmの長さがあり、初級者向けの「林間コース〜メルヘンコース」は全長3.6kmの滑りごたえのあるロングコース。上級者向けの「ダウンヒルコース」は、急斜面の上に非圧雪のパウダースノーを満喫する滑りが2.2kmのコースで楽しめます。また、山頂から望む360度の大パノラマも魅力の一つ。札幌や小樽近郊の多くのスキーヤーやスノーボーダーが利用しているとあって、その実力は間違いありません。スノーエスカレーターを完備したなだらかな斜面もあるため、初めてスキー・スノーボードを楽しむ人でも安心して遊べるでしょう。札幌市内への帰路には定山溪温泉や小金湯温泉といった湯処もあり、スキーと温泉をセットにして楽しむプランも人気です。



降雪時、パウダー体験の絶好機が市内中心部に



わくわくスノーランドにはエスカレーターも完備



国際規格のハーフパイプ

さっぽろばんけい
スキー場

ban.K

DATA

〒064-0945 北海道札幌市中央区盤渓410

☎011-641-0071

<https://www.bankei.co.jp/>



標高トップ:482m

標高差:207m

標高ベース:275m



ナイトター レンタル レッスン(外国語)



札幌市中心部から約20分



地下鉄東西線円山公園駅から約15分



@sapporo_bankei



@sapporo_bankei_skiarea

SAPPORO
6 SKI AREA

03

ban.K

交通網の優れたスキー場



札幌都心の中央区内にあるスキー場とあって、アクセスは抜群。特にバスの交通網が優れていて、路線バスのばんけいバスでは、パソコンやスマートフォンで運行状況や最寄りのバス停を地図から検索できる、便利なアプリケーションもあります。無料駐車場も1000台完備し、タクシー送迎とリフト券などのバック料金も用意されています。

札幌市の中核エリア・中央区にありながら、優れた雪質と積雪量を誇るさっぽろばんけいスキー場。街の中心部から車で20分ほどのアクセス環境で、地下鉄の円山公園駅、真駒内駅、発寒南駅から発着するバス輸送も充実。センターロッジ1階にあるバス運行状況の表示モニターは、全国的にも珍しい設備です。スキー場はワイドに広がるレイアウトになっていて、初心者から上級者まで楽しめる全17コース。コンパクトな規模ながら、スラロームバーンやモーグルコース、国内最大規模のハーフパイプなど国際大会が開かれるクオリティを誇っています。国際スキー連盟公認のモーグルコースと「ban.Kハーフパイプ」は、2017年冬季アジア札幌大会の会場にもなりました。また、初心者や子どもが滑りやすい緩やかなコースも充実し、特に一般ゲレンデとは別の安全なエリアにある「わくわくスノーランド」は、子どもたちや観光客の雪遊びデビューに最適なコース。場内に設置されたスノースカレーターで登りもラクラク、チューブ滑りやそり遊びチュービングなどを満喫できます。

日本新三大夜景都市札幌の夜景を堪能



市内中心部から約20分の距離、まるで街の上を滑っているかのよう



スキーレベルや昼夜問わず都市の絶景を楽しむ

多彩なコースが魅力のスキー場



初心者から上級者までエンジョイできる多彩なレイアウトの全10コース。北海道唯一のスキー専用ゲレンデはスキーヤーだけの楽園です。ほとんどのコースはナイターにも対応しているため、昼夜を問わずスキーを満喫できるのも人気の秘密。日中と夜では雪の状況や眺望が変わるため、時間を変えて訪れるのも楽しいものです。

札幌藻岩山スキー場

SAPPORO MOIWAYAMA SKI AREA

DATA

〒005-0040 札幌市南区藻岩山下1991

☎011-581-0914

<https://www.rinyu.co.jp/moiwa/>



標高トップ:448m

標高差:173m

標高ベース:275m



ナイター



レンタル



レッスン(外国語)



札幌市中心部から約20分



地下鉄真駒内駅発着のじょうてつバスで約6分



@SAPPOROMOIWAYAMASKIRESORT



@rinyu_moiwa531



@sapporo_moiwayama_skiarea

札幌の街中から車でわずか20分のアクセス環境。全国的にも珍しいスキー専用ゲレンデの藻岩山スキー場は、標高531mの藻岩山の斜面に広がるスキー場です。北斜面と南斜面に分かれた全10コースは、初心者から上級者まで幅広く楽しめます。北斜面のスキーロッジ横には「なかよし広場」が設けられ、そり滑りや雪遊び、初心者や子どもの練習にも最適。また、全長2.6kmの初心者向け「観光道路コース」は、札幌の街を眼下に見下ろしながらのんびりトレッキング気分楽しめます。また、最大斜度35°のコブ斜面「うさぎ平コース」や札幌の街に飛び込んでいくような感覚が味わえる「ダイナミックコース」は、中上級者からも人気です。8つのコースにナイター設備が整っていて、日本新三大夜景に選ばれた札幌の夜景とスキーを同時に楽しめるのも魅力。平日は21時まで営業しており、学校帰りや会社帰りの市民で賑わっています。昼は市内の観光を楽しみ、夜はナイトスキーを満喫するのも、札幌ならではの楽しみ方かもしれません。

住宅街に突如現れるナイトパウダー



キッズゲレンデに出現する雪山は大人も一緒に子どもと遊べます



上級者も満足できる急斜面もあるのでレベルに関わらず楽しめる

札幌オリンピック由来のリージュコース



リージュはそりに仰向けに乗って氷上を滑るウィンタースポーツで、ここには国内でも珍しいリージュ競技場があります。1972年の札幌オリンピックの際に予備コースとして造成され、現在国内に存在するリージュ競技場は長野県とここだけです。競技大会のタイミングに合えば、弾丸のように疾走する選手の姿を見られるかもしれません。

フッズスノーエリア

Fu's SNOW AREA

DATA

〒061-2271 北海道札幌市南区藤野473-1

☎011-591-8111

<https://www.fujino-yagai-sports.jp/winter>



標高トップ:563m

標高差:250m

標高ベース:313m



ナイター



レンタル



レッスン(外国語)



札幌市中心部から約30分



地下鉄真駒内駅より約30分



@fus_sapporo



@fus_sapporo

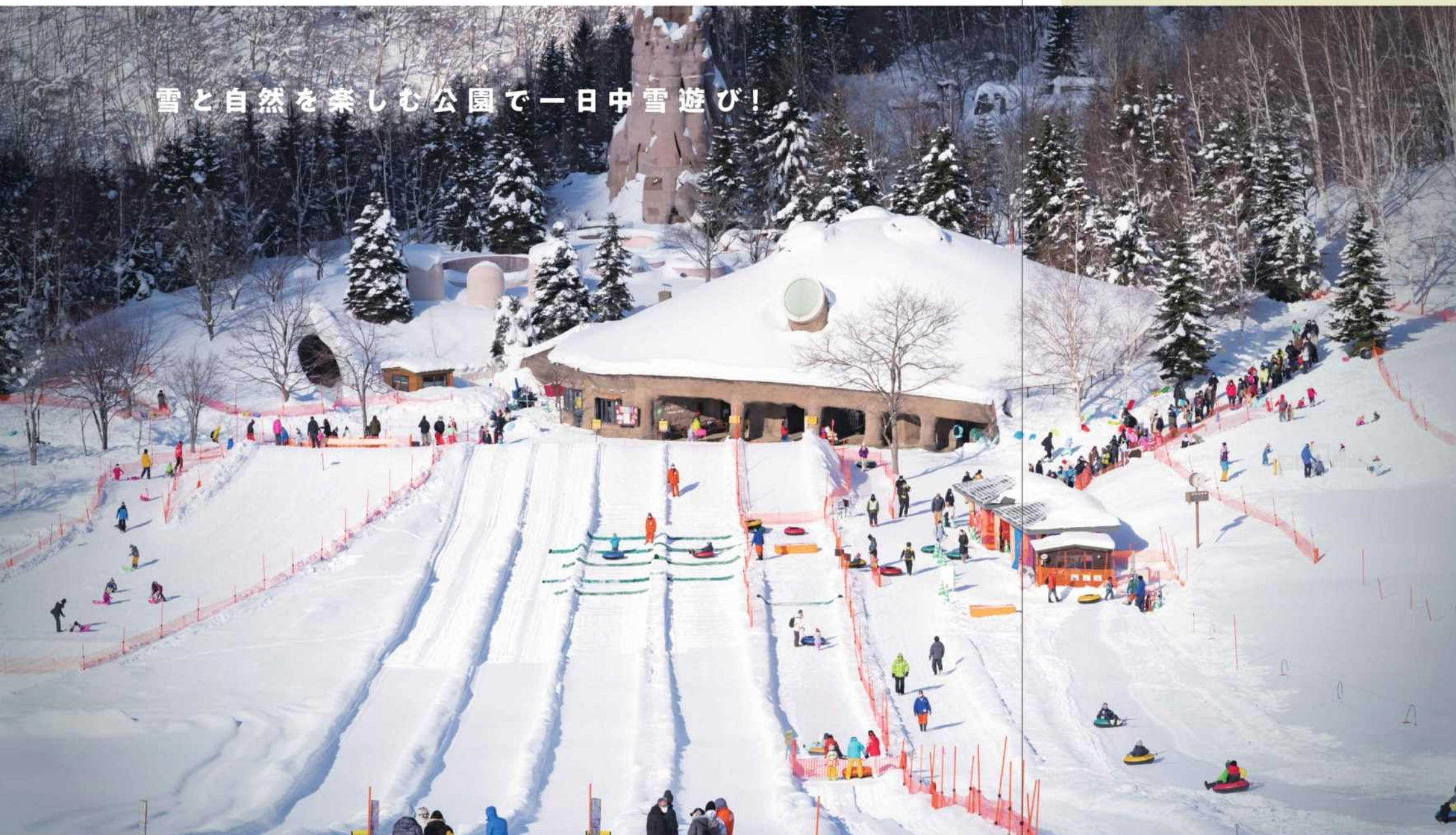
SAPPORO
6 SKI AREA

05

Fu's
snow area

札幌中心部から南へ車で約30分ほどの場所にあるスキー場。全6コースがあり初級者から上級者まで幅広く楽しめます。この魅力のひとつがリーズナブルな価格設定。4時間券やナイター券、スキー・スノーボードセットのレンタル料も価格が安く、初めてスキー・スノーボードをする人も楽しめます。ゲレンデは山頂から裾野に向けて広がっているレイアウト。山頂付近は斜度があり上級者向け、麓になるにつれて斜度が緩くなり、初中級者向けの斜面となります。コースから斜面を見下ろすと、コースと住宅街の近さに驚くことでしょう。ここはとくに家族連れの利用も多く、ゲレンデには賑やかな声が溢れています。山麓エリアに広がる緩斜面は、初めてのスキーやスノーボードの練習にも最適です。一方、山頂から滑り降りる2つのコースは急斜面。「パノラマコース」は札幌藻岩山や盤渓方面の山々が望めます。もうひとつの「ダイナミックコース」は、最大斜度38°。バーンは隙間なくコブで覆い尽くされ、腕自慢が集います。初めてのスキーの人々や上達を目指したい人には、予約制のプライベートレッスンもおすすめです。

雪と自然を楽しむ公園で一日中雪遊び！



ビギナーからベテランまでみんなが一緒に遊べる



冬はスキー、スノーボードだけじゃない

アシリベツの滝



渓流ゾーンにあり「日本の滝百選」の一つにも選ばれている、札幌市内最大級の滝。大寒のころに厳しい冷え込みが続くと、滝のしぶきが氷結する、「氷瀑」という現象が見られます。天気がよい日の朝には、日の光を浴びてキラキラと輝く神秘的な滝の光景を見ることができます。

滝野スノーワールド

TAKINO SNOW WORLD

DATA

〒005-0862 北海道札幌市南区滝野247番地
☎011-592-3333
<https://www.takinopark.com/>



標高トップ:260m
標高差:30m
標高ベース:230m



レンタル レッスン(日本語)



札幌市中心部から約50分



地下鉄南北線真駒内駅からバスで約30分



@takinopark



@takino_official



@takino.park



@国営滝野すずらん丘陵公園

SAPPORO
6 SKI AREA
06

TAKINO
SNOW
WORLD



01 佐々木 明 Akira Sasaki

「豊かな土壌や海洋によって育まれる自然」



Photo:札幌国際スキー場

Q. 冬の札幌の魅力は？

A.札幌市は200万人都市でありながらすぐそばに山があり海もあります。北海道の豊かな土壌や海洋に育まれる食材は世界レベル。四季を通じて自然を楽しむことができる上、冬はスキーヤーにとって最も必要な雪が豊富で、世界へ誇れる環境があります。札幌は都心部から車でおよそ30分の場所に複数のスキー場が密集しています。それぞれのスキー場は個性豊かで楽しみ方のバリエーションは多彩。その日のコンディションや滑りたい斜面、滑りたいスキースタイルに合わせてロケーションを選べるのが大きな魅力です。夜は都会の夜景を見ながらスキーを滑ることもできる、世界的にも稀有な場所だと思います。

Q. 好きなスキー場はどこですか？

A.札幌国際スキー場

ひとつに絞るのはとても難しいですが、強いて言えば札幌国際スキー場にはよく行きます。その理由は広いコースに比較的緩斜面の多いレイアウトで、家族やビギナーの仲間も連れて行けると。そして何よりも素晴らしい雪質です。

Q. オススメの食事処や滑らない人でも楽しめる場所は？

A.Thumbsup coffee STAND

滑ったあとは甘いものが欲しくなるもの。テイネ近くのこの店のコーヒーと手作りドーナツ、おこっぺ町の牧場「ノースブレインファーム」の生乳を使ったソフトクリームが大好きです。山や海へ行く前、そしてアクティビティの前にも、心から落ち着ける場所です。早朝から営業しているので、アクティブに動く人にとってはとても重宝します。



Q. 冬の札幌、ここは行ったほうがいいという場所は？

A.北海道神宮

ここは神道の宗教施設で、雪のない時期でも厳かな気持ちになれますが、真っ白な雪に包まれる姿は特に神聖に感じます。鳥居と呼ばれる門から本殿へまっすぐに延びる参道はいつ行っても気持ち引き締まり、散策にもぴったりです。

PROFILE



1981年北海道北斗市出身。アルペンスキー・ワールドカップで日本人最多の3度表彰台に立ち、4大会連続オリンピック出場。世界のスキー場を滑った経験をいかし、プロスキーヤーとして雪の素晴らしさを伝えている。

[@akiraexploring](https://vimeo.com/ondemand/twinpeaks)

Neil Hartmann ニール・ハートマン

「除雪整備が優れているから、近郊リゾートのアクセスもしやすい」



Photo:札幌国際スキー場

Q. 冬の札幌の魅力は？

A.雪は時には生活を困難にしますが、同時にとても美しく自然とのつながりを強めてくれます。この自然への感謝は、札幌市民みんなが持っているものでしょう。雪の魅力は、さっぽろ雪まつりなど、さまざまな冬のイベントやお祭りを通じて見ることができます。山が近いこともいいですね。札幌市内からは6つのスキー場にアクセスでき、バックカントリーへのアクセスポイントも無数にあります。

スキーの後は街に戻り、最高のグルメとエンターテインメントが楽しめます。これは世界的に見てもとても稀で素晴らしい組み合わせです。それから除雪の技術レベルが最高。札幌は世界の大都市で最も雪が多い都市のひとつですが、道路除雪整備の技術がとても優れています。そのおかげで、札幌近郊のリゾート地へも道路事情を気にすることなくアクセスできるのです。

Q. オススメの食事処や滑らない人でも楽しめる場所は？

A.豊平峡温泉のカレーと藤野のコーヒー
スノーボードの帰りにカレーを食べることが多いです。豊平峡温泉にあるレストランではネパール人コックによる素晴らしいカレーとナンが味わえます。また、札幌はコーヒー文化が盛んで、品質が高く、落ち着いた雰囲気の良いカフェがたくさんあります。中でも藤野にある「Standard coffee lab」がお気に入りです。

Q. 冬の札幌、ここは行ったほうがいいという場所は？

A.夜景スポットの数々

200万人近い市民が暮らす大都会が深い雪に覆われた夜景は圧巻です。最初に紹介したいのは藻岩山の頂上。ゴンドラやケーブルカーで山頂までアクセスでき、頂上から眼下に市街地を一望する絶景が広がります。2つ目は大倉山スキージャンプ台。リフトで頂上まで行き、市街地に飛び込むようなラージヒルジャンプ台のスケール感を味わってください。3つ目は札幌駅直結のショッピングモール「JRタワー」。38階の展望室からは、華やかな都心の夜景と札幌駅構内を行き交う電車を眺めることができます。



03 児玉 毅 Takeshi Kodama

「藻岩山スキー場のナイターで札幌の夜景を全身で体感してほしい」



Photo:サッポロテイネ

Q. 冬の札幌の魅力は？

A.まず、冬を楽しめるイベントが充実しています。さっぽろ雪まつりは雪像のクオリティや演出が毎年グレードアップして、感動を与えてくれます。雪を楽しむ催しを多数開催している「滝野すずらん丘陵公園」なども、雪に恵まれた札幌の冬を体感できるスポットです。個性豊かなスキー場が街から近いのもいいですね。滞在しながらスキーをしたり観光やショッピングを楽しんだり、都市型のスキーが楽しめます。中心部に宿泊すれば、一日で冬のグラントスラム(スキー→温泉→グルメ→夜の歓楽街)を満喫できてしまいます。特に道産食材を活かした絶品グルメは札幌の大きな魅力です。

Q. 好きなスキー場はどこですか？

A.サッポロテイネ

子どもの頃から親しんでいるスキー場ですが、変化に富んだコースは全く飽きることがありません。山頂からは石狩湾、札幌市街、暑寒別連峰や大雪山を望む最高の眺望が楽しめます。標高が比較的高く、北

向きの斜面が多いので雪質が抜群なのもまた良いです。

Q. オススメの食事処や滑らない人でも楽しめる場所は？

A.塩成吉思汗「八仙」大通店とモエレ沼公園
塩ジンギスカンは臭みのなく柔らかい極上のラム肩ロースを、塩で味付けしたものです。辛みの効いた細切りネギと一緒にいただきます。味付きジンギスカンやタレをつけて食べる生ラムジンギスカンと違って、後味がさっぱりしていて食べやすく、病みつきになります。「モエレ沼公園」は世界的彫刻家のイサム・ノグチが設計した公園です。スノーシューや歩くスキーで園内を散策したり、園内にあるモエレ山の山頂からソリで滑走したり、スキーを滑れない人もきっと楽しめるはずです。



Q. 冬の札幌、ここは行ったほうが良いという場所は？

A.藻岩山スキー場のナイタースキー

日本新三大夜景にも選ばれた札幌の夜景に飛び込むように滑る藻岩山のナイタースキーはいつ行っても感動します。ロープウェイで上がって眺望だけを楽しむこともできますが、スキーができる人は全身で札幌の夜景を体感してほしいです。

PROFILE



1974年北海道札幌市出身。2005年にはエベレストにも登頂。デナリ山頂からの滑降をはじめ、インド、中国、モロッコ、ギリシャ、レバノンなど世界の山を訪れ写真集を制作している。

Instagram: @skiertake0728
Facebook: @takeshi.kodama.735

Yoko Nakamura 中村 陽子

「12月から5月初旬まで長い期間、天然雪で遊べる」



Photo:サッポロテイネ

Q. 冬の札幌の魅力は？

A.人口約200万人が住む大都市なのに、1時間圏内で海にも山にも行ける。これほどまでに自然に囲まれた都市は世界的に見ても珍しいです。冬は街中が雪に覆われ、12月から5月初旬まで長い期間に渡って天然雪が楽しめます。また、北海道は食料自給率が200%を超える食の宝庫です。農産物や海産物、乳製品といったおいしい食材が、道内各地から北海道の中心である札幌に集結。市内には、道産素材を

生かしたおいしいお店が数え切れないほどあります。

Q. オススメの食事処や滑らない人でも楽しめる場所は？

A.カラバトカリー、space1-15 (スペースイチイチゴ)

札幌国際スキー場から定山渓を通して中心部に向かう途中に見えてくる“果ての果てまで行ってみないか”これが現地の味”という看板がカラバトカリーの目印です。メニューはパキスタンカレーセット(サラダ&チャイ付き)のみ。さっぱりと酢が効いたマリネ風サラダ、ホロホロになるまで煮込んだ鶏肉が入ったスパイスカレーはクセになるおいしさです。食後のチャイでホッと一息。アフタースノーでつつい寄ってしまうおすすめのお店です。円山エリアにあるspace1-15(スペースイチイチゴ)は5階建ての古いマンションの中にカフェやキッチン、雑貨・洋服屋、計り売り、クラフト作家のお店、お菓子やアクセサリーの教室などがそれぞれ

マンションの一室を借りて木曜～日曜までの週末メインで営業しています。エントリーは、ビルのインターホンで目的地の部屋番号を押して中に入るスタイルで、宝探し感覚で楽しめる空間。一度好きになると何度も行きたくなる場所です。

Q. 冬の札幌、ここは行ったほうが良いという場所は？

A.豊平峡温泉

源泉100%掛け流しの日帰り温泉で、大きな露天風呂に浸かりながら、雪景色を眺めてゆっくりと入る温泉が格別です。



Apres Ski ENJOY SAPPORO

札幌の冬を満喫する

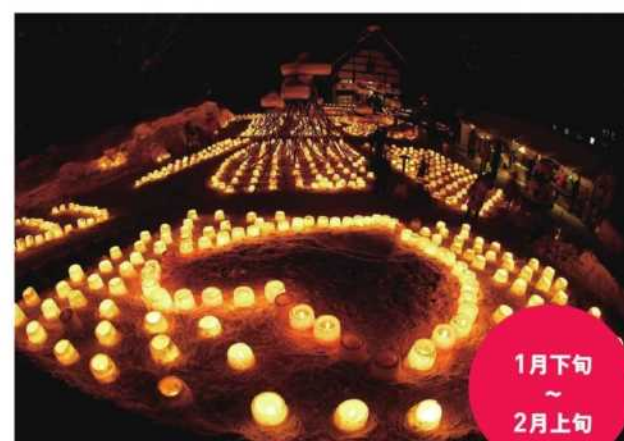


ミュンヘンクリスマス市

ドイツの雰囲気を感じよう

ドイツ・ミュンヘン市との姉妹都市提携30周年を記念し、2002年から開催されているクリスマスマーケット。大通公園を舞台にクリスマス雑貨やドイツ料理の屋台が並ぶほか、11月下旬から行われる「さっぽろホワイトイルミネーション」とのコラボレーションもあります。

<https://white-illumination.jp/munich/>



定山溪雪灯路

ろうそくの灯火が定山溪を彩る

札幌の奥座敷と呼ばれる定山溪温泉で、定山溪神社を会場に開催されるスノーキャンドルイベント。温泉街の人たちがバケツに雪を詰めて作った2000個ほどのスノーキャンドルが境内を飾る光景は幻想的。ハート型のスポットはフォトジェニックで特に人気があります。

<https://jozankei.jp/about/>

期間限定の名物イベントを体験

札幌市は期間限定で開催される冬ならではの名物イベントが多くあります。とくに2月上旬に開催される冬の風物詩とも言える「さっぽろ雪まつり」には国内外から約250万人が訪れるほどの人気ぶり。よく冷えて澄み切った空気の中に見える美しい氷の彫像や巨大な雪像など、札幌ならではの冬を満喫してみるのはいかがでしょうか。



すすきの氷の祭典

参加する楽しみを味わう

「さっぽろ雪まつり」のすすきの会場に約60基の氷像が立ち並び、透き通った美しさが目を奪います。中には毛ガニや魚を埋め込んだユニークな氷像も。氷彫刻の実演コーナーやアイスバーなど、見るだけでなく参加する楽しさも味わえます。

<https://www.snowfes.com>



さっぽろ雪まつり つどいむ会場

子どもから大人まで雪遊びが楽しめる

札幌市東区にあるスポーツ施設「つどいむ」を会場に、氷のスライダーやスノーラフティングなどのアトラクションを多数展開。思いきり雪遊びできるスキューエアで出かけましょう。施設内の屋内スペースには休憩所や飲食ブースなどもあります。

<https://www.snowfes.com>

Apres Ski

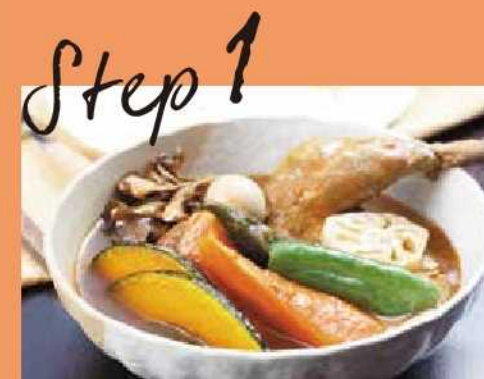
DAY Plan

ディプラン

滑らない日は都市観光

都市観光をはじめ滑らなくても楽しめるプランの充実ぶりが札幌の魅力。スキー場へ足を運ばない一日のプランをイメージしてみました。

スキーやスノーボードをしなくても、冬の札幌は観光名所がたくさんあります。市街地エリアでのグルメや買い物はもちろん、少し足を延ばせば雪のアクティビティを体験できるスポットもいっぱい。ここでは都市と自然を一日で満喫できるプランをご紹介します。札幌の代表的なご当地グルメといえば味噌ラーメン。札幌が発祥でもある濃厚な味噌スープと中太ちぢれ麺をベースに、バターコーン、辛味噌など、各店が個性豊かな味を提供しています。おなかいっぱいになったら都心部にほど近いスノースポットでアクティビティに挑戦。夕食は人気観光スポットでビールとジンギスカンに舌鼓をうち、甘いスイーツで締めくくりましょう。



「札幌市中央卸売市場」の場外市場でカニやホタテなどの北海道土産を選ぶのも楽しい



甘い幸せに包まれる お菓子のテーマパーク

札幌銘菓「白い恋人」の製造工程も見学できる

おとぎ話のような建物とイルミネーション、お菓子作り体験などが人気の「白い恋人パーク」

腹ごしらえをして 都市観光スタート

スープカレー

スープカレーは、スパイスの効いたさらさらのスープ状カレーにご飯を浸して食べる、札幌発祥の料理です。さっぱりから濃厚まで味わいのバリエーションは豊富。各店のこだわりが詰まったスープに、北海道の新鮮な野菜や骨付き鶏肉などをダイナミックに盛り付けた、豪快な見た目も魅力です。

見て聞いて触って自然や都市を堪能



建築家イサム・ノグチが設計した「モエレ沼公園」ではスノーシューや歩くスキーなどのレンタルも可能。



スタジアム「札幌ドーム」のすぐ横でスノーラフティングやそり・チューブすべりなどの雪遊びができる「ゆきひろば」。



建築家の安藤忠雄が設計した大仏殿などを見学できる「真駒内滝野霊園」。

体を動かしたら 札幌らしい場所で夕食

歴史ある建物でビールとジンギスカンを楽しむ

明治時代の建物をそのまま利用した「サッポロビール博物館」はフォトジェニックなスポットも多い人気の観光スポット。日本のビールの歴史を辿るガイドツアーもあります。併設のレストラン「サッポロビール園」では、ラムジンギスカン食べ放題と数種の生ビールを含む飲み放題プランが人気です。



Step 4



Apres Ski

NIGHT Plan

ナイトプラン

滑ったあとが本番!?

ステイする都心エリアとスキー場が隣接して近い札幌だからこそ、効率的にどちらも遊べます。アフタースキーでは夜の札幌観光も無理なく満喫できます。

日中はスキーやスノーボードを楽しみ、夕方以降は市内観光を満喫するプランは冬の札幌の遊び方の王道と言えるでしょう。滑り終えてこわばった体を温泉で温めた後は、札幌名物のグルメを味わいながら、冷えたビールで乾杯。頃合いを見て、日本新三大夜景のひとつに選ばれる札幌の夜景を鑑賞しましょう。市街地に戻ってきてからが夜の観光の本格スタート。北の歓楽街すすきのへと繰り出し、旅の夜と美食に酔いましょう。一日の締めは札幌の夜の定番「シメパフェ」で決まりです。



Step 1



滑って冷えきった体を温泉で温めよう

大都市ながら温泉が気軽に楽しめる

道内屈指の名湯・定山溪温泉へは市街中心部から車で約1時間。フッズスノーエリアや札幌国際スキー場からは30分足らずで直行できます。都心には岩盤浴やエステを備えた温浴施設、ホテル高層階からの眺望を楽しめるスパなども充実しています。



Step 2



体がほぐれたら札幌らしい食材に舌鼓

太平洋と日本海、オホーツク海の新鮮な海の幸が札幌に集まるため、高級寿司店から気さくな回転寿司まで多彩なお店が軒を連ねています。

グルメ王国札幌を存分に味わおう

ジンギスカンは、中央が山のように盛り上がった専用の鍋で羊肉を野菜と一緒に焼いて味わう北海道の郷土料理です。

Step 3



都心から近い「もいわ山ロープウェイ」

札幌市のほぼ中央に位置する標高 531mの藻岩山。そこにかかるロープウェイとミニケーブルカーを乗り継ぐと、山頂から全方位に渡って札幌の街並みを見渡すことができます。

日本三大歓楽街すすきのを満喫



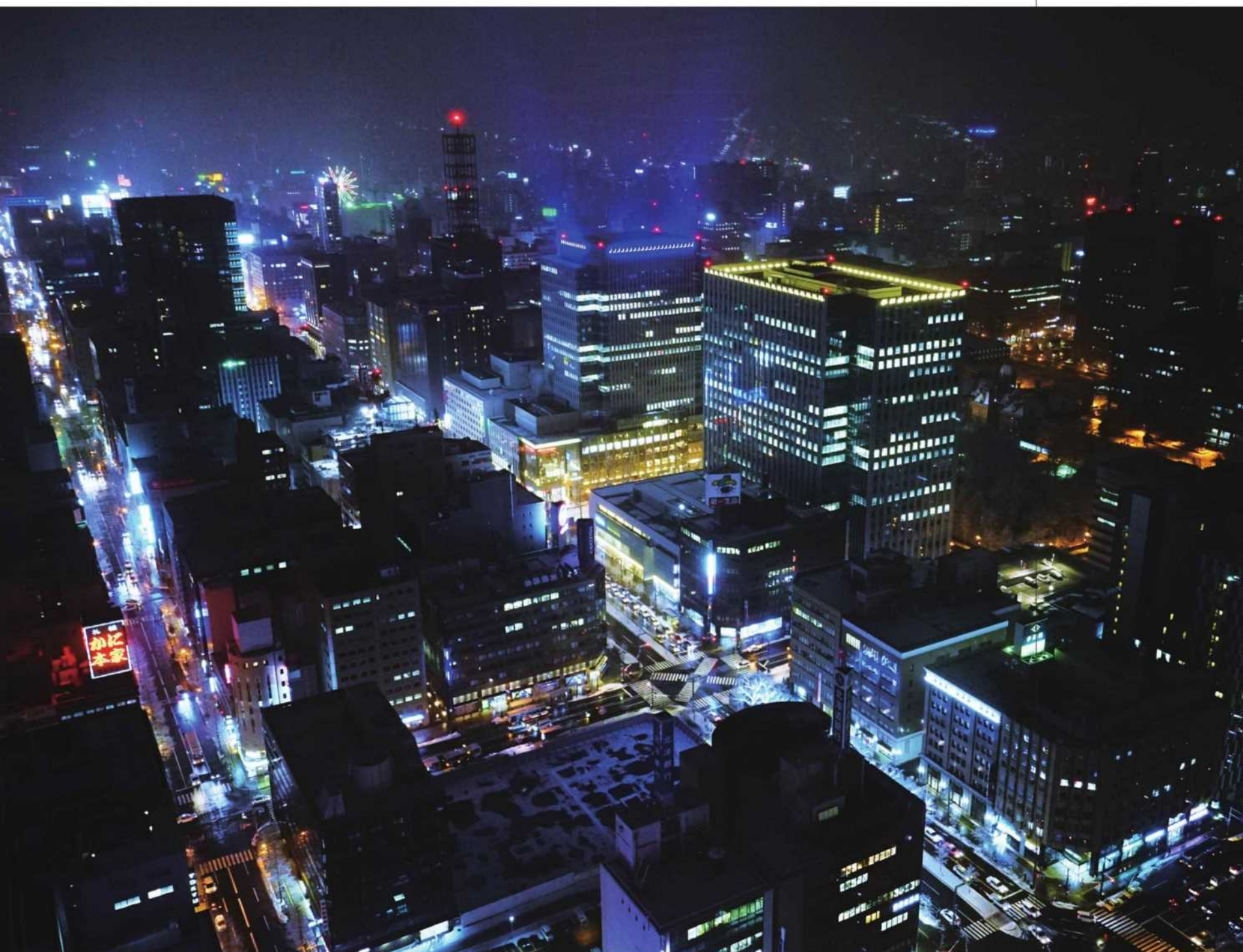
Step 4

滑った後に充実したナイトタイムが過ごせるすすきの。ネオン広告でにぎやかなすすきの交差点はフォトジェニックなスポットとしても有名です。治安も良く、音楽やお酒を楽しめる良い雰囲気クラブやバーも多彩です。

飲んだ後の締めはパフェがセオリー!?

北海道は菓子の原料である牛乳やバターなどの乳製品、小麦や小豆などの名産地なので、鮮度の高い良質な素材をふんだんに使ったスイーツも充実しています。中でも札幌では、冷たくて甘いパフェで酒の後の締めをくる習慣が季節を問わず広がっています。





APRES SKI

SAPPORO Japan

**スキー・スノーボードと一緒に
都市観光やグルメを満喫**

「アapresスキー」とは“スキーの後”という意味です。ヨーロッパや北米のスキーリゾートでは、スキーの後に食事やお酒を楽しむ文化が根付いています。札幌市はまさにこの「アapresスキー」を存分に堪能できる都市です。市内にある6つのスキー場はいずれも中心部から1時間ほどでアクセスでき、日中はスキーをして夕方から都市観光、もしくはその逆パターンも可能です。気軽にアapresスキーが楽しめるのは、都市と自然が共存する札幌ならではの魅力。もちろん、ウィンタースポーツをしない人も十分に楽しめるのは言うまでもありません。札幌を訪れたらウィンタースポーツとともに、ここでしかできない体験を存分に堪能しましょう。

